



## 平成 30 年(2018 年) 新春に願う 子どもたちの幸せ

校長 福井 真千子

輝かしい新春を迎えました。新成人のお祝いも終えて 3 学期が始まりました。

子どもたちは、年末年始の行事を経験したり、家族や親戚の皆さんとの団らんを楽しんだりして、それぞれに心温まる冬休みを過ごし、新たな希望を抱いて本日を迎えたことと思います。

平成 30 年度 (2018 年度) (4 月～翌年 3 月) からは、2 年後の 2020 年度に全面実施となる「小学校学習指導要領の改訂」に伴う新教育課程の移行期に入ります。教育課程はほぼ 10 年ごとに改訂されてきましたが、次期の改訂の内容は、これまでに以上に大きな変化があるものです。改訂のキーワードは「主体的・対話的で深い学び」とされ、知識の理解の質を高め資質・能力を育むことを目指すとされています。

小学校のみならず、この先の中学校、高等学校（幼稚園は今年 4 月から全面実施です）でも順次改訂の時期を迎えています。

学校ではそのような節目を迎えており、新しい教育に目を向けた準備を行っているところです。教育内容がどう変わるのか保護者様へのご説明も行っていこうと思います。

さて、いよいよ寒さが厳しくなり、日々の天候や特に通学の安全を心配しますが、子どもたちが安全で安心して学校生活を送れるように、生活のリズムを整えることからご協力をお願い致します。

3 学期は、6 年生が卒業を迎えます。また、他の学年も学習内容を全て終えて終了するまとめの時期であり、各学級のまとめも一段と深まって温かいつながりが続くように願っています。

本校は全学年が単学級であり、互いをよく知り、親しみ易い関係を築いていますが、思い込みで友だちの幅を縮めてしまわないようにしてほしいと思う面もあります。いじめにつながるようなことがないか見守っています。だれもが安心して過ごせるように、小さな声にも耳を傾けること、そして、学級で自分たちの課題を見つけて話し合ったり、意見の交換をしたりすることで、積極的に楽しい学校をつくってほしいと願っています。



3 学期の始業にあたり、子どもたちには、「目標を立てる」こと・「継続はたのしさや豊かさを生む」ことを話しました。新年の誓いに込められたそれぞれの子どもたちの思いを尊重し、一人一人を大切にして、まとめの時期を過ごして参りたいと思います。

今年も、皆様のご協力、ご支援をよろしくお願い申し上げます。



正面玄関には大野労務員さんがいつも素敵な花を飾ってくださいます。

1 月は、正月飾の生花、手作りの逸品です。

### 3学期始業式の様子です



「新年の誓い」や「3学期にがんばりたいこと」をクラス代表者が発表しました。発表者も、友だちのお話を真剣に聞く姿勢も素晴らしかったです。湖東第一小学校の子どもたちのとてもよいところですよ。



### 春の七草

正月七日の朝は、「七草がゆ」を食べる風習がありますが、近年ではどこのうちでも、という訳ではないのではないのでしょうか。

平成 25 年 12 月、「和食；日本人の伝統的な食文化」がユネスコ無形文化遺産に登録されました。和食は、WASHOKU として世界で通じる時代になってきています。「七草がゆ」も和食の一つと考えると、この文化を伝承していくことは大事に思います。

それでは、春の七草を唱えてみましょう。

セリ、ナズナ（ペンペン草）、ゴギョウ、ハコベラ（ハコベ）、ホトケノザ、スズナ（カブ）、スズシロ（ダイコン）の七種です。子どもたちは詩の暗唱同様に覚えられるといいですね。

12 月に百人一首暗唱で、平安時代の光孝天皇の歌

「君がため春の野に出でて若菜つむ わが衣手にゆきはふりつつ」

を覚えてくれました。この歌は春浅い雪の中で若菜を摘んだという内容を含み、春先の新鮮な野草が大事なものであり、七草がゆの行事が大事とされていたらしいことが想像されます。

### ★家庭学習＜予習のすすめ＞

家庭学習は発達段階に合わせた時間で毎日行うように働きかけています。方法などをお知らせしていますので前にお配りしている「家庭学習の手引」を参考にしてください。

3 学期は、その学年で学ぶ内容を全て終え、次の学年に備える必要があります。復習も大事ですが、授業に主体的に参加し、意欲をもって学ぶには「予習」がより発展的です。

イメージは次のようになります。家でじっくりと考えたことを次の日に発表する、先生から出された課題をいろいろな方法で調べたり、できるところまで考えておいたりする。そして授業に臨むと、質問をしたり、意見交換をしたりすることができやすく、受け身ではなく、主体的に学べて楽しくなる。学びが楽しいと、学力は自ずと身についていくというものです。意欲を持続させることが何よりの大きな力であり、小学生のこの時期に、「考える」「楽しく学ぶ」習慣を身につけておくことは、次世代を担う子どもたちには必要です。学校でも予習しやすい働きかけや課題の出し方を行ってまいりますので、ご家庭での見守りや、「そこに気がついたの、いいね。ノートに書いたらどうかしら。」「わからないことは＜質問＞にしたらどうかしら。」等の相づちにご協力いただければ幸いです。

### ★10 分間学習「がんばりタイム」＜第 2 ステージ＞へ

毎日の全校の取組として定着した 10 分間学習（一人一人が自分の力を試しながら国語科と算数科の基礎学力定着を図ることを目的に行っているプリント学習です。）3 学期から応用力を問う形の第 2 ステージのプリントが準備でき、スタートします。